

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道260号 志摩バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県志摩郡志摩町布施田 至：三重県志摩郡志摩町御座			延長	5.4 km	
事業概要	一般国道260号は、三重県志摩郡阿児町を起点として熊野灘沿いの急峻な地形を横断し、同県北牟婁郡紀伊長島町に至る実延長約11.7 kmの幹線道路である。志摩バイパスは志摩町内の幅員狭小区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するために計画された2車線のバイパスである。					
S63年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)		S63年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	約11.1億円	事業進捗率	88%	供用済延長	3.3 km	
計画交通量	5,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C: (事業全体) 1.6 (残業) 5.0	総費用: (残業)/(事業全体) 2.8/13.5億円 (事業費: 26/130億円 維持管理費: 2/25億円)	総便益: (残業)/(事業全体) 1.4/21.0億円 (走行時間短縮便益: 127/195億円 走行費用減少便益: 12/14億円 交通事故減少便益: 2/1億円)	基準年	平成15年	
事業の効果等	・地域ネットワークの構築...現道における大型車のすれ違い困難区間を解消 ・個性ある地域の形成...主要な観光地へのアクセス向上 ・安全で安心できるくらしの確保...二次医療施設へのアクセス向上					
関係する地方公共団体等の意見	国道260号道路改良促進期成同盟会（構成：紀伊長島町、紀勢町、南島町、南勢町、阿児町、大王町志摩町、浜島町）が結成されており、事業促進が強く望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成14年4月に東海地震防災対策強化地域に指定される。 平成16年10月の新市誕生に向け市町村合併の取り組みが進められている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	既に60%にあたる3.3 kmを供用している。和具浦大橋は平成17年に完成する（既に上部工を発注済み）ことから効用が高まる。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業延長が長く、用地買収難航（地権者間の境界争い、相続問題）箇所があり時間を要した。しかし、平成17年には決着することから早期に全線供用できるよう鋭意事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	和具浦大橋について仕方書の改定に伴い、設計の見直し等を行っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						